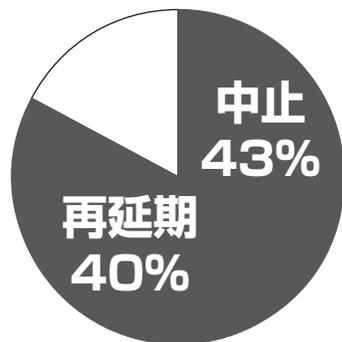


今夏の五輪は中止し コロナ対策に全力を

「命より五輪が大事」はありえません



「朝日」5月17日付より

世論調査では東京五輪の「延期、中止」が8割以上。「今夏の五輪はやめるべき」が世論です。

中止すべき3つの理由

- 1 ワクチン接種が間に合わない**
開催国・日本でのワクチン接種の状況は、2回目の接種が終わったのは全人口の7.7%、世界の107位（21日現在）。7月開会の五輪には間に合いません。
- 2 フェアな大会にならない**
感染は、インド、ヨーロッパの一部、南米なども深刻。全世界のアスリートが同じ条件で競い合う大会にはなりません。アスリートの願いに反するのではないのでしょうか。
- 3 現場にさらなる負荷**
看護師 500人 スポーツドクター 200人 協力病院 30病院
医療従事者を東京五輪のために医療現場から引きはがし、集めることには現実性がありません。コロナのもとで大変な日本の医療体制へのさらなる負荷はあり得ません。

都議選 7月4日投票

五輪開催にしがみつくと 自民・公明・都ファ

7月4日投票の東京都議選は東京五輪・パラ開催の是非が大争点。共産党は「五輪より命を大切にする政治を」と訴え。自民・公明・都民ファーストは開催にしがみついています。対決構図はクッキリです。

コロナ収束 いま必要なのは

- ワクチン** 正確で分かりやすい情報を提供しつつ、希望者全員に安全・迅速・確実な接種を
- 検査** 無症状者からの感染を防ぐPCRなどの検査を飛躍的に大規模に拡充を
- 補償** 危機に陥っている中小企業、芸術・文化関係をはじめとする事業者に十分な補償を。生活困窮者への支援を

ありえない！五輪観戦に

東京都は幼稚園から高校まで90万人（公立81万、私立9万）を東京五輪観戦に動員する計画。命まで危険にさらすのかと批判が。

90万人動員

五輪は自然災害でない政治決断で中止できる

志位委員長が強調



記者会見する志位和夫委員長
=17日、国会内

志位委員長は17日の会見で、五輪強行に突き進む菅政権の姿勢を厳しく批判し、改めて中止を求めました。

国立感染症研究所などのシミュレーションや政府分科会の尾身茂会長が五輪開催などによるリスクを指摘。開催は国民の命をギャンブルにかけるようなもの。「今から中止は難しいのでは」の声もありますが、五輪は自然災害ではありません。政治の決断で中止できます。

日本共産党